

東毛地区人権教育指導者研修会Ⅱ

2019.11.02(土)

みどり市笠懸野文化ホール



令和元年11月2日(土)にみどり市笠懸野文化ホールにおいて、「令和元年度東毛地区人権教育指導者研修会Ⅱ」が開催されました。東毛地区各市町人権教育推進組織員・社会教育関係者(79名)、学校教育関係者(20名)、管内管外市町福祉部局関係者(23名)、行政関係者(12名)計134名の方々に御参加いただきました。以下はその概要です。

今年度のテーマ「子どもたちの人権」

演題 非行少年と虐待～多機関連携で子どもを守る～

講師 福岡県警察本部生活安全部少年課 安永 智美 氏

群馬県人権教育充実指針で掲げている重要課題(11項目)の中から、「子どもたちの人権」をテーマに、研修会を実施しました。現役の警察官として日々非行少年・少女そしてその保護者と関わっている安永 智美(やすなが さとみ)氏を講師にお招きし、ご講演をいただきました。

安永氏は、子どもたちに対していじめを生まないための講話を学校で行ったり、虐待を受けている子どもたちの声や子どもをなくした母親の声などを実際に伝える講演をされたりしています。今回の講演では、虐待の現場での実情を伝えていただき、改めて子どもたちの置かれている現状や、加害者となる親の心情等を深く学ぶ事ができました。



① 参加者の声



・とても良かったです。現役でご活躍されている方の生の声に驚きを覚えました。子ども達に寄り添う、このような機関があること、多機関連携の大事さがよくわかりました。私自身できることを考えたいと思いました。

・子どもたちの現状を聞いて涙が出ました。私にできること、決して難しいことではないことを教えていただきました。

・実体験のお話なので、とてもメッセージ性が強かった。子ども達が置かれている様々な状況が想像でき、その子の思いを感じ、胸が締め付けられた。未来を担う子ども達が光の方を向いて、笑顔で生活できるような手助けができるよう心がけたい。

主催 東毛地区人権教育推進連絡協議会

後援 群馬県教育委員会 みどり市教育委員会